

被爆ピアノ・コンサート

私は最初、戦争や原爆について関心はありませんでした。でも、この被爆ピアノを託され話を聞くうちに、平和について考えるようになりました。戦争を知らないという意味では、私も皆さんと同じです。このピアノを見て聴いて、平和や命の尊さについて考えてほしいと思います。今日のピアノは、今年の広島平和祈念式典で使われたピアノで、ニューヨークや、オスロ（ノルウェー）であった「ノーベル平和コンサート」で使われたピアノです。（調律師 矢川光則）

今を生きている近藤さんと被爆したピアノで、こんなに美しい演奏ができることがすごかったです。広島に原爆が落ちて焼け残ったピアノが、ここまで人の心や考え方を変えろと思ってもいませんでした。平和に生活できることに感謝したいと思います。（齋藤 輝）

最初の演奏は「紅蓮華」だったので少しノリノリだったけど、一音一音鳴るごとに原爆のことを想像していたら、途中で悲鳴のような声はずっと叫んでいて泣きそうになってしまった。高い音がいつも聴いている音とは違い、被爆前のことを語っているようだった。（藤原康太）

映画「お母さんの被爆ピアノ」で聴いた曲もあり、普通のピアノよりも温かみのある音だった。原爆の資料や写真を見て、恐ろしいと思った。これから生まれてくる人達にも途切れずにこの話が伝えられ、こんなことが2度と起きないようにしてほしい。（加藤くるみ）



戦争がなければ、戦死した人は笑えたし恋をすることもできたのに、全てをとられてかわいそうだと思います。日本だけでなく、世界から戦争という悲しいことがなくなればいいのと思いました。平和は普通だと思っていたけど、奇跡だと改めて知りました。（片桐瑠香）

被爆ピアノの演奏を聴き、私はピアノが泣いているように聴こえました。ショパンの曲を聴いたときは、静かな街が1個の爆弾によって火の海になっている風景が見えました。演奏の跡に見た瓶の中の折り鶴は、死んだ人の心のように見えました。（高橋陽音）

曲目

鬼滅の刃の主題歌「紅蓮華」
トロイメライ（シューマン）
ノクターン第20番「遺作」
（ショパン）
革命（ショパン）
ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」
（ベートーベン）

世界にはまだ戦争があり、平和であることは奇跡で、幸せなことです。私もピアノが弾けることが幸せで、感謝しています。このピアノの音を思い出して、平和は奇跡であることを思い出してください。（演奏者 近藤阿由良）